

第1回 新穂地区合同防災訓練実施計画策定会議次第

と き 平成30年2月22日(木) 19時～

ところ 新穂行政サービスセンター 2F 学習室

〇〇 本日の予定 〇〇

1 開 会

あいさつ /

新穂地域づくり協議会 城野忠彌 会長

佐渡市役所 渡邊裕次 総務部長

2 新穂地区合同防災訓練の実施について

3 ワークショップ

テーマ /

①「寒波による断水被害 課題の発見と改善点等の検証」

- 具体的な被害や自主防災会などの取り組み等についての情報交換
- 課題と改善点等について検討 など

②「どんな訓練をすれば良い？」～イメージを共有化し訓練概要を決定～

- 訓練概要(案)を基に、どのような訓練を行うのか考える

- ・ どんな災害を想定して訓練するか?
- ・ 誰が参加するか?
- ・ どこで訓練を行うか?
- ・ どの季節・日程・時間にするか? など

※ 個人ワークで検討したうえで、グループで意見を集約します。

- ・ グループごとに自己紹介
- ・ カードでの提案(個人ワーク)
- ・ 意見集約とグループ発表

4 次回会議日程と内容について

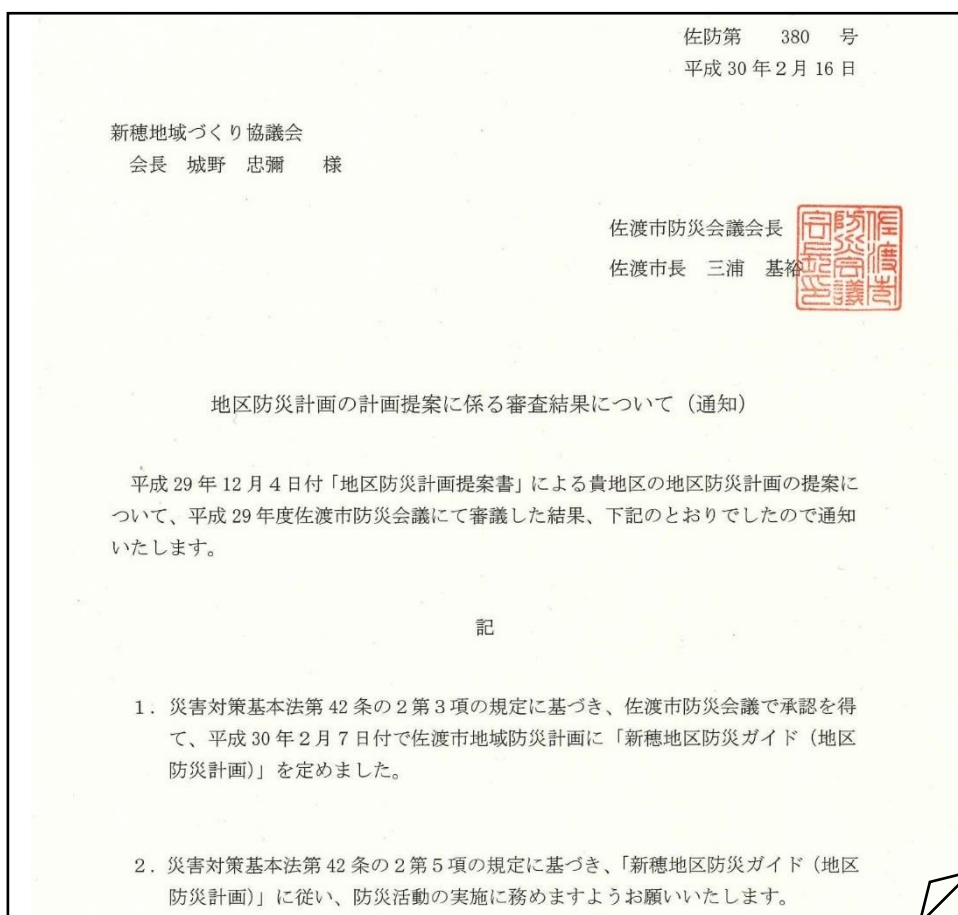
5 閉 会

あいさつ 新穂地域づくり協議会 渋谷美由紀 生活安心副部会長

新穂地区合同防災訓練の実施について

■ 今までの経過

期 日	内 容
H29. 7. 31(月)	第 1 回 新穂地区防災円卓会議
8. 31(木)	第 2 回 新穂地区防災円卓会議
9. 27(水)	第 3 回 新穂地区防災円卓会議
10. 24(火)	第 4 回 新穂地区防災円卓会議
11. 22(水)	第 5 回 新穂地区防災円卓会議
11. 27(月)	第 3 回 新穂地域づくり協議会役員会
12. 4(月)	地区防災計画提案書の提出 (新穂地域づくり協議会→佐渡市)
H30. 1. 18(木)	第 1 回 新穂地区合同防災訓練関係機関事前検討会議(関係機関)
1. 25(木)	平成 30 年 新穂地区市政事務嘱託員会議
2. 7(水)	佐渡市防災会議
2. 14(水)	第 2 回 新穂地区合同防災訓練関係機関事前検討会議(関係機関)
2. 16(金)	佐渡市防災会議審議結果通知(佐渡市→新穂地域づくり協議会)
2. 22(木)	第 1 回 新穂地区合同防災訓練実施計画策定会議



平成 30 年度 佐渡市新穂地区合同防災訓練実施計画概要(案)について

1 趣 旨

災害が発生した場合にその被害を最小限にとどめるためには、国、県、市及び防災関係機関・団体が一体となって、市民との連携により対応することが重要です。

新穂地区合同防災訓練は、「新穂地区防災ガイド」に基き、新潟県佐渡地域振興局、佐渡市、新穂地域づくり協議会及び自主防災会が連携して、実践的な防災訓練を実施することにより、災害時における役割分担と初動対応を確認するとともに、地区住民自らが適切な判断と行動ができ、平時から十分な準備をすることができるよう、防災・減災意識の高揚を図ります。

2 日 時

平成 30 年 6 月 3 日(日) 8 時 30 分 ～ 14 時 30 分

【参考】

5 月	水防月間
6 月	土砂災害防止月間（6 月第 1 日曜日を中心に訓練）
8 月 30 日～9 月 5 日	防災週間
11 月 5 日	津波防災の日、佐渡市総合防災訓練
1 月 17 日	防災とボランティアの日

3 場 所

佐渡市新穂地区全域

トキのむら元気館、新穂行政サービスセンター

4 主 催

佐渡市

新穂地域づくり協議会(主管:生活安心部会)

5 協 力

新潟県佐渡地域振興局地域整備部 治水課、砂防課

6 訓練参加機関・団体

(順不同)

新潟県	佐渡地域振興局地域整備部 治水課・治水課(大野分室)、砂防課 佐渡東警察署 新穂駐在所、潟上駐在所
佐渡市	総務部/総務課、防災管財課、市民福祉部/市民生活課、社会福祉課、建設部/建設課、上下水道課、消防本部、新穂行政サービスセンター
地 区	自主防災会(21 団体)、消防団、民生委員児童委員、社会福祉協議会、赤十字奉仕団、新穂建設業組合、地区住民・事業者、新穂地域づくり協議会

7 訓練想定

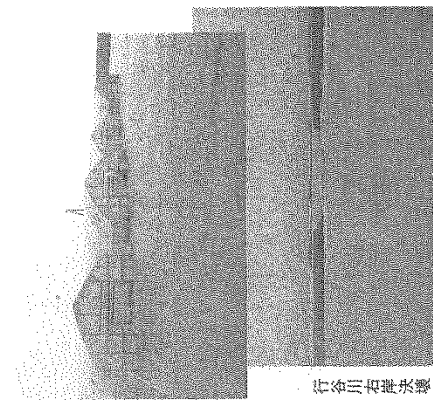
新潟県北部に停滞していた梅雨前線が活発化し、佐渡地方を中心に豪雨が発生。これに伴い、新穂地区において洪水による河岸の決壊や堤防の越水、複数同時多発土砂災害が発生。

項目	内容												
誘因	<ul style="list-style-type: none"> 梅雨前線の活発化に伴う豪雨。 佐渡市で観測史上最大の 300mm/日の記録的な雨量を観測。 <p>参考：大正 7 年から平成 23 年までの 95 年間に、 両津雨量局で計測された日最大雨量ランキング</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>雨量 (mm)</th> <th>年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 位</td> <td>251.0</td> <td>S53. 6. 26</td> </tr> <tr> <td>2 位</td> <td>197.0</td> <td>H14. 7. 15</td> </tr> <tr> <td>3 位</td> <td>194.0</td> <td>H10. 8. 4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 参考 8.4 日最大雨量 新潟市 265mm/日、久知川ダム 270mm/日 大野ダム 246mm/日、新穂ダム 224mm/日</p>	順位	雨量 (mm)	年月日	1 位	251.0	S53. 6. 26	2 位	197.0	H14. 7. 15	3 位	194.0	H10. 8. 4
順位	雨量 (mm)	年月日											
1 位	251.0	S53. 6. 26											
2 位	197.0	H14. 7. 15											
3 位	194.0	H10. 8. 4											
災害事象	<ul style="list-style-type: none"> 大野川、国府川、行谷川が決壊。 天王川が越水、伊利川が超流。 各地で地すべり (2 箇所)、同時多発的な土砂災害 (33 箇所) の発生。 大野川及び新穂川上流が河道閉塞。(2 箇所) 水源地と導水管が埋没流出し、地区全域が断水 道路冠水、土砂流出堆積及び破損等による交通途絶。 (県道 65 号線・237 号線、市道各所) 孤立集落の発生。 												

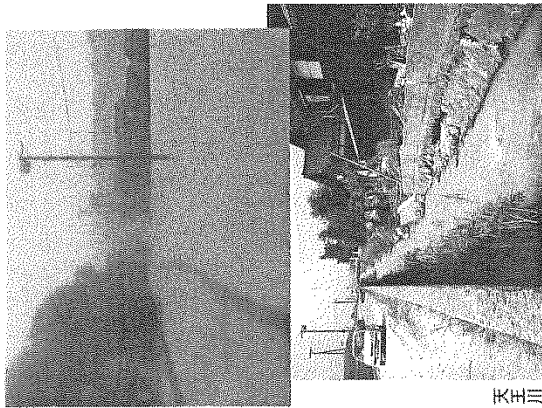
※ 洪水・土砂災害想定集落以外の 2 集落 (青木、下大野) は、大規模な地震発生を想定して、住民避難・誘導訓練を実施する。(避難集合場所への徒歩避難)

- 洪水想定集落 / 皆川、舟下、下新穂、武井、郷平、上大野、井内、潟上、長畝、内巻、島、北方、新穂、馬場、三協
- 土砂災害想定集落 / 上大野、上新穂、井内、瓜生屋、正明寺、田野沢、潟上

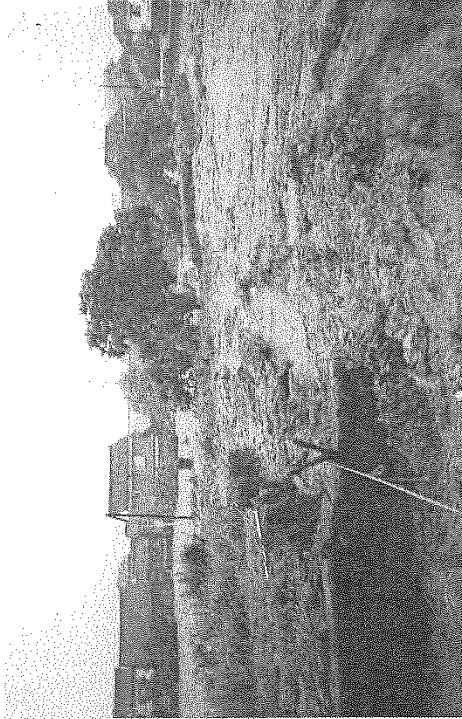
8・4 梅雨前線豪雨災害 速報



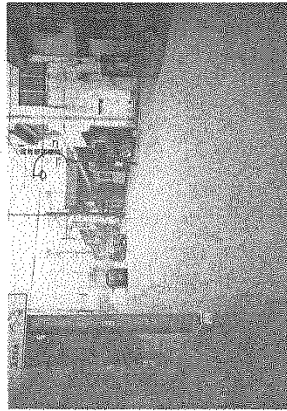
行谷川右岸決壊



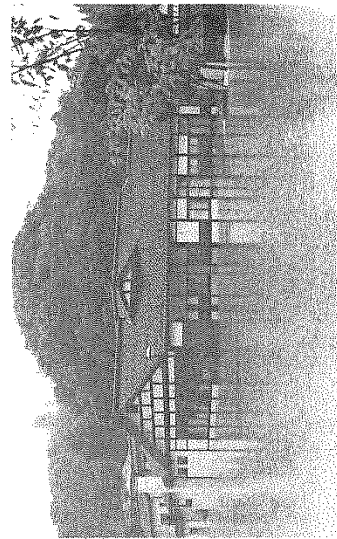
天王川



大野川左岸決壊



新穂商店街



大豆ご迷惑をおかけしますが、新穂郷上温泉は当分の間休館と致します

1日当たり雨量が多い記録

① 242 mm	平成10年 8月 4日
② 167.5 mm	平成 9年 6月 28日
③ 147 mm	昭和55年 8月 26日
④ 133 mm	昭和59年 9月 3日
⑤ 130.5 mm	平成 7年 8月 3日
⑥ 121 mm	昭和51年 8月 5日
⑦ 119 mm	昭和53年 6月 25日
⑧ 118 mm	昭和58年 5月 16日
⑨ 115 mm	平成 2年 8月 17日
⑩ 112 mm	昭和47年 8月 26日

※この資料は、昭和47年4月以降の記録です。

4日未明から停滞する梅雨前線の影響で新潟地方を襲った集中豪雨は、村内で一時間当たり48mm、3日降りはじめからの雨量は242mmとなり昨年6月の集中豪雨の記録を大きく上回り、記録的な大雨となった。

このため、村内を流れる普通河川をはじめ二級河川の氾濫があいつぐ中、4日午前10時大野川が決壊し、濁流が郷平集落を襲い、68世帯約200人に避難勧告、多くの人が緊急避難した。また、濁流は新穂・馬場・三協集落にも影響を及ぼし、一部の人が新穂小学校へ避難した。

さらに、二級河川国府川・行谷川・天王川・長谷川があいついで決壊・溢水等をし、周辺住宅や水田などを水没させた。

また、水源地と導水管が完全に埋没流失し、5日朝5時から全域にわたる断水となり、自衛隊等による給水活動

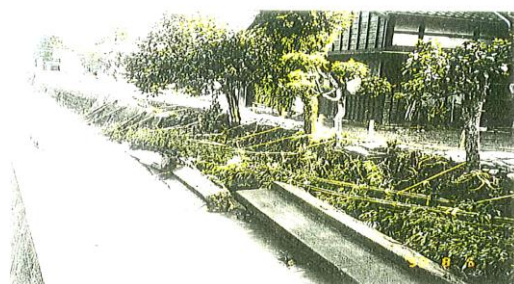
と、時間給水で対応しているが、未だ完全復旧の見通しはたっていない。

この他にも村内全域で大きな被害が出ており、村内の被害は8月6日現在で床上浸水76棟、床下浸水80棟、一般道15箇所、農道・林道の決壊56箇所、河川の決壊15箇所、田の冠水153箇所、崖崩れ・土砂崩れ66箇所、被害総額は45億7,760万円(推定)となっている。

大野川



天王川



国府川



行谷川



8 訓練内容等

(1) 新穂地区全域 (8時30分～)

① 情報収集・伝達訓練 / 新潟県、佐渡市等

避難情報や災害情報などを、佐渡市緊急情報システムやサイレン吹鳴、警報車等により伝達する訓練を実施します。

② 住民避難誘導訓練 / 自主防災会等

自宅から自主防災会が決めた避難集合場所(防災活動拠点施設)へ一時避難後、指定緊急避難場所(トキのむら元気館)へ避難する訓練を実施します。

- 各戸で用意している「非常持出品」を持って避難する。
 - 隣近所に声を掛けながら、一緒に避難する。
 - 避難集合場所では、集まる予定の人たちの安否を確認する。
また、周辺の被害を確認する。(自主防災会から、土砂災害警戒区域内世帯への避難情報の伝達訓練を含む)
 - 要配慮者等一人で行動できない方の家を複数(民生委員や集落役員等)で訪ねて、安否を確認する。
 - 避難者は、危険箇所や「新穂地区防災ガイド」に示す災害時の行動等を意識して避難する。
 - ・ 避難時の危険箇所や避難時間を把握するとともに、避難経路を検証する。
 - ・ 避難情報の収集と隣近所へ伝達する方法を検証する。
 - ・ 要配慮者の支援にかかる時間や留意点などを検証する。
 - ・ 自動車避難における避難ルートや避難時間、留意点などを検証する。
- ※ 自動車避難を実施する場合は、自動車保険の加入状況を確認する。

要配慮者支援の避難訓練を実施する場合

- あらかじめ「支援する人」「支援される人」を決めておき、「支援する人」は「支援される人」のところに向かい、避難に必要な支援を行いながら避難集合場所・指定緊急避難場所へ向かいます。
- 避難行動要支援者名簿に登録されている方が「支援される人」となって、訓練を行うことが想定されますが、安全面の観点から、健常者が「支援される人」を担うことも考えられます。
- 支援体制や避難にかかった時間を記録し、訓練後の検証に役立てましょう。
- 支援する際は、安全面に十分配慮しながら、危険のない範囲で避難しましょう。

※ 消防団・民生委員児童委員等は、自主防災会と連携・協力して、避難行動要支援者名簿をもとに、避難情報の伝達、安否確認、避難誘導などの避難支援訓練を実施する。

③ 緊急時警戒訓練 / 新穂建設業組合等

新潟県佐渡地域振興局及び佐渡市が協定を結んでいる新穂地区の建設会社が、緊急時河川巡視、土砂災害警戒区域巡視訓練を実施します。

(2) トキのむら元気館 (11時30分～)

① 避難所等開設・運営訓練 / 佐渡市、自主防災会役員等(3.5人/自主防)

避難所の開設・運営における基本事項を確認する訓練を実施します。
(防災資機材等輸送訓練、避難所運営本部・居住組・活動班設置・活動体験(避難者名簿作成、避難所レイアウト、備蓄物資・資材受入れ配布、防災行政無線利用、仮設トイレ設置、炊出し、居住スペース体験等)、応急給水訓練等)

② 担架作成・搬送講習 / 佐渡市、自主防災会役員等(20人程/2回)

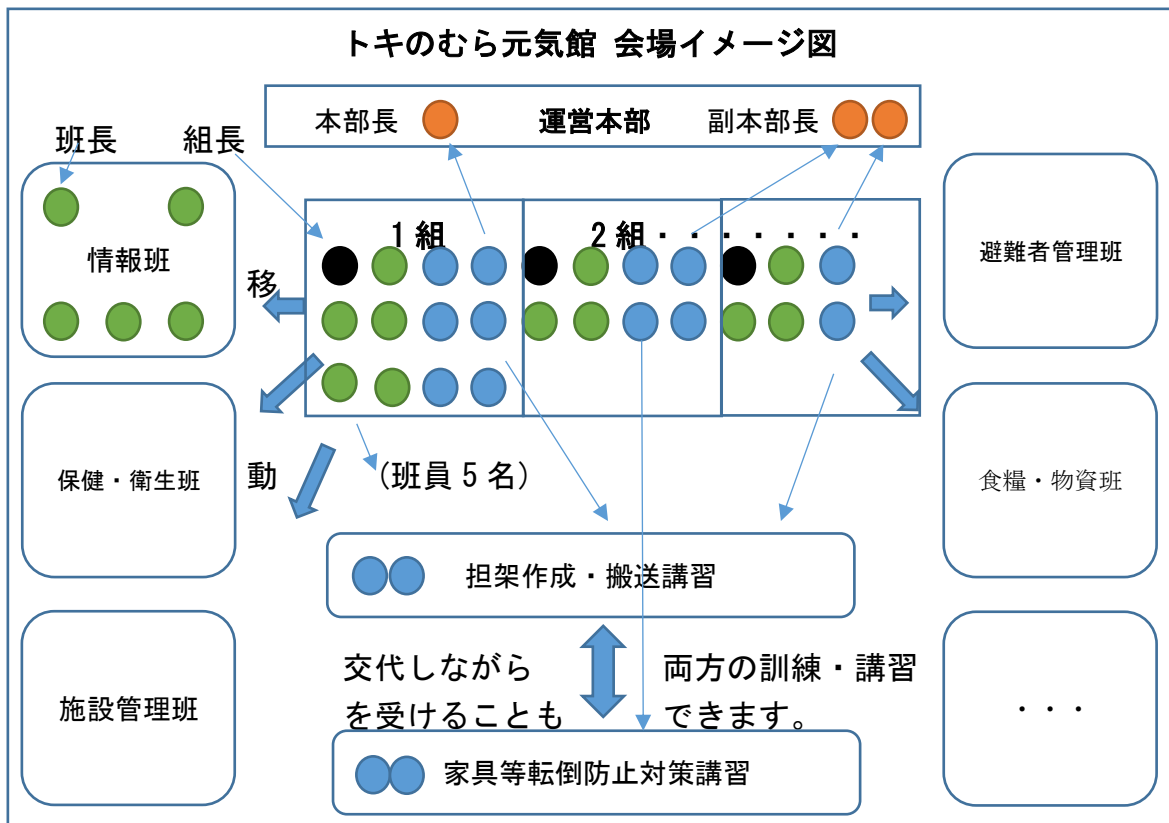
椅子や毛布など身近なものを使った搬送訓練を実施します。

③ 家具等転倒防止対策講習 / 佐渡市、自主防災会役員等(20人程/2回)

家具等転倒防止対策講習を実施することにより、家具等の転倒や危険物の落下による死者、重軽傷者ゼロを目指します。

④ 防災啓発・各種防災資機材展示 / 新潟県、佐渡市等

洪水、土砂災害、地震等の防災啓発のため、各種展示を実施します。



(3) 新穂行政サービスセンター (14時30分～)

- ① 学習型防災訓練(水防活動・土砂災害対策) / 新潟県、佐渡市等
防災関係機関相互の緊密な連携協力体制の強化を図るため、河川・土砂災害監視体制や水防活動等について、学習型防災訓練を実施します。
- ② 重要水防箇所等合同パトロール / 新潟県、佐渡市、建設事業者等
緊急時の監視・巡視・水防活動を行うにあたり、特に注意する必要がある箇所について、防災関係機関が合同でパトロールします。
- ③ 防災資機材・備蓄物資確認 / 新潟県、佐渡市、建設事業者等
水防資機材などを、防災関係機関等が合同で確認します。

回覧

地域で実践!

新穂地区合同防災訓練



平成30年6月3日(日)

8時30分スタート

《主に想定する被害》

梅雨前線が活発化し、佐渡地方を中心に豪雨が発生。これに伴い、新穂地区において洪水による河岸の決壊や堤防の越水が発生するとともに、土砂災害が複数同時に多発。(一部集落では、大規模地震を想定します。)

《主な訓練の内容》

1. 自主防災会が決めた避難集合場所(集落公民館等)への一時避難訓練
(隣近所への声かけ・安否確認など)
2. 指定緊急避難場所である「トキのむら元気館」への集団避難訓練
3. 一定期間避難生活をしなければならない場合を想定した避難所の開設・運営訓練

《避難の際には・・・》

ご家庭にある非常持出品を実際に持ち出してみましょう！

**自らの命や家族の命を守るために
地域の住民一人ひとりが日頃から万が一に備え 地域の防災力を高めよう !!**

主 催：佐渡市、新穂地域づくり協議会
協 力：新潟県佐渡地域振興局地域整備部 治水課、砂防課
訓練参加機関・団体：自主防災会、佐渡東警察署新穂駐在所・潟上駐在所、消防団、
民生委員児童委員、社会福祉協議会、赤十字奉仕団、新穂建設業
組合、佐渡市、新穂地域づくり協議会

ワークショップとは

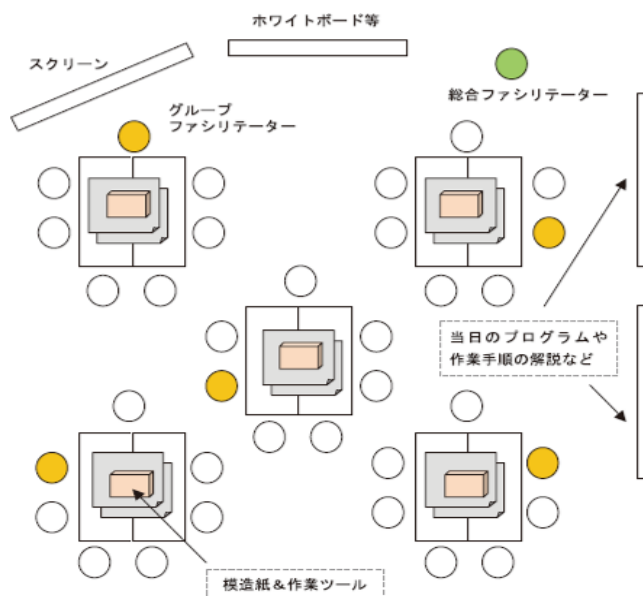
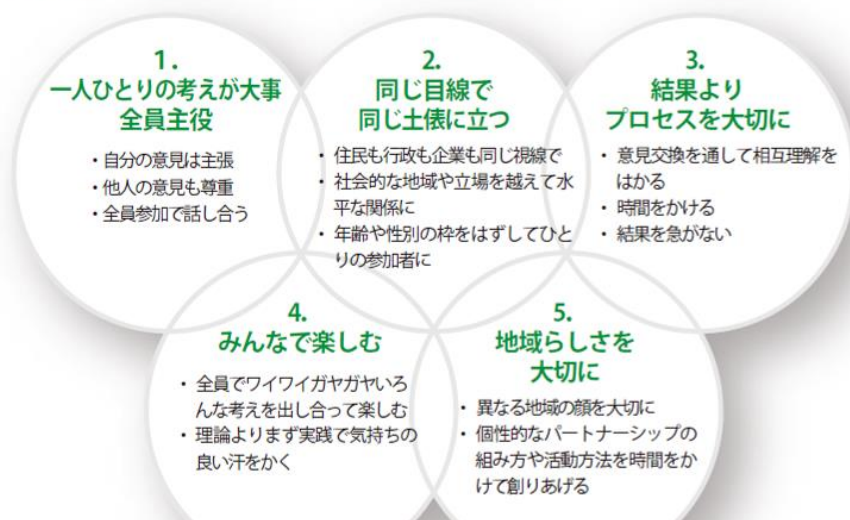
ワークショップとは、楽しさや創造性を持たせながら、人と人とのコミュニケーションをとるための新しい話し合い方のスタイルです。

ワークショップのもともとの意味は、「工房」「作業場」など共同で何かを作る場所を意味します。そのような共同で作業を行う場としてのスタイルを持って、参加者が主体となって積極的に意見を出し合い物事を決定していく作業のことがワークショップと呼ばれるようになったと言えます。

また、「ワークショップ」という言葉は、利用される分野や人によってその定義の仕方、使われ方も異なっているため、正確な定義としては難しい単語だと思いますが、あえて表すならば「講義などの一方的な知識伝達を行うものではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの中で何かを学び合ったり、作り出したりする『双方向的な学びと創造の場』」と表現することができます。

地域住民と行政とのパートナーシップの形成や交流を通じた地域づくりの有効な手段として活用されています。

★地域づくりとワークショップで大切な5つの考え方



第2回 新穂地区合同防災訓練実施計画策定会議次第(案)

と き 平成30年3月1日(木) 19時～

ところ 新穂行政サービスセンター 2F 学習室

〇〇 本日の予定 〇〇

1 開 会

2 訓練当日のタイムテーブルや段取りについて

- ① 防災訓練タイムスケジュール(案)について
- ② 各種訓練実施概要について
 - ・ 何時にどんな行動とするか?
 - ・ どの程度時間がかかるか?
 - ・ 誰が何を担当するのか? など

3 今後の予定

- ① 防災訓練実施直前確認会議の開催について(1月前くらい)
- ② 防災訓練反省会の開催について

4 その他

5 閉 会

第1回 新穂地区合同防災訓練実施計画策定会議 ワークショップシート

班

テーマ①「寒波による断水被害 課題の発見と改善点等の検証」	
具 体 的 な 被 害	
自主防災会等の取り組み	
災害予防・応急対策等の課題	
災害予防・応急対策等の改善点	
テーマ②「どんな訓練をすれば良い？」 ～ まずはできるところから 避難訓練と避難所運営訓練から始めましょう ～	